

トップコミットメント

ステークホルダーを支え、サステナブルな成長に貢献できるパートナーを目指します。

事業環境の変化を新たな貢献の機会に

当社グループでは2013年3月の英国Aegisグループの買収を契機に、Dentsu Aegis Network (DAN) を設立し、現在120以上の国・地域に事業領域を拡大して活動を展開しています。これにより、連結売上総利益に占める海外事業の構成比は50%を超え、従業員数もグループ全体で40,000人を超える規模に拡大しています。

こうした中、当社グループを取り巻く事業環境の変化は大きく、ビジネスのあらゆる領域に及んでいます。クライアントやビジネスパートナーも、デジタル化によるテクノロジーを活用した新たなビジネス展開や事業構造の変革、ビジネスモデルの革新など、常に変革を求められる厳しい競争環境に置かれています。

このような環境下においては、当社グループの果たすべき新たな役割への期待が高まるものと受け止めています。現在、2013年度を初年度とする中期経営計画「Dentsu 2017 and Beyond」のもと、デジタル領域での競争力強化などを通じて、これまでのビジネスの枠組みを超えて、クライアントビジネスの成功、その企業価値最大化にグローバル規模で貢献するグループとなることを目指しています。

一人一人の社員の成長により、社会との強固な信頼関係を

社会的な変化を的確に捉えた上で、これまで培ってきた事業基盤と競争力の維持、強化に注力する。そして時代を先取りし、目の前に広がる機会を最大限に生かすことが当社グループには求められます。そうした気概は、グローバルでの社会課題の解決に際しても同様と考えています。社会的課題の発見および解決に向けた提案を重ねて、新たな社会的価値の創造を図ることが、我々に課された使命だからです。



株式会社電通
代表取締役社長執行役員

石井 直

そのため世界のあらゆる組織が担うべき社会的責任を示したISO26000をガイドラインとして採用し、当社グループ社員一人一人がそれぞれの地域で社会的責任を果たすために順守すべき共通の行動規範として、CSR理念「電通グループ行動憲章」を定めています。

またさまざまなステークホルダーとのエンゲージメントを重視して、2009年には国連グローバル・コンパクトに加盟し、その10原則を支持するとともに、ネットワーク・ジャパンの他業種メンバー企業とともに、グローバルレベルでの社会課題の抽出・解決に注力しています。

DANでは、2010年に策定した中期CSR計画「Future Proof」をベースにして、世界各地の拠点で環境保全、コミュニティ支援などの活動をはじめとして、地域に根差した活動を進めています。今後はDANとの連携を一層深めて、さまざまなステークホルダーとの協働の機会を創出し、相乗効果を高めるような活動を推進していきたいと考えています。

こうした活動を通じて、一人一人の社員の成長により社会との強固な信頼関係を構築し、今後もステークホルダーの変革を支え、そのサステナブルな成長に貢献できるパートナーとなることを目指しています。

当社グループの企業理念である「Good Innovation.」のもと、人へ、社会へ、新たな変化を、社会的価値をもたらす企業グループとして、ステークホルダーの皆さまとともにCSR活動に取り組んでまいりたいと考えています。今後とも、ご理解、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。